

山元町文化財

おおえだけ  
大條家茶室

仙台藩ゆかり

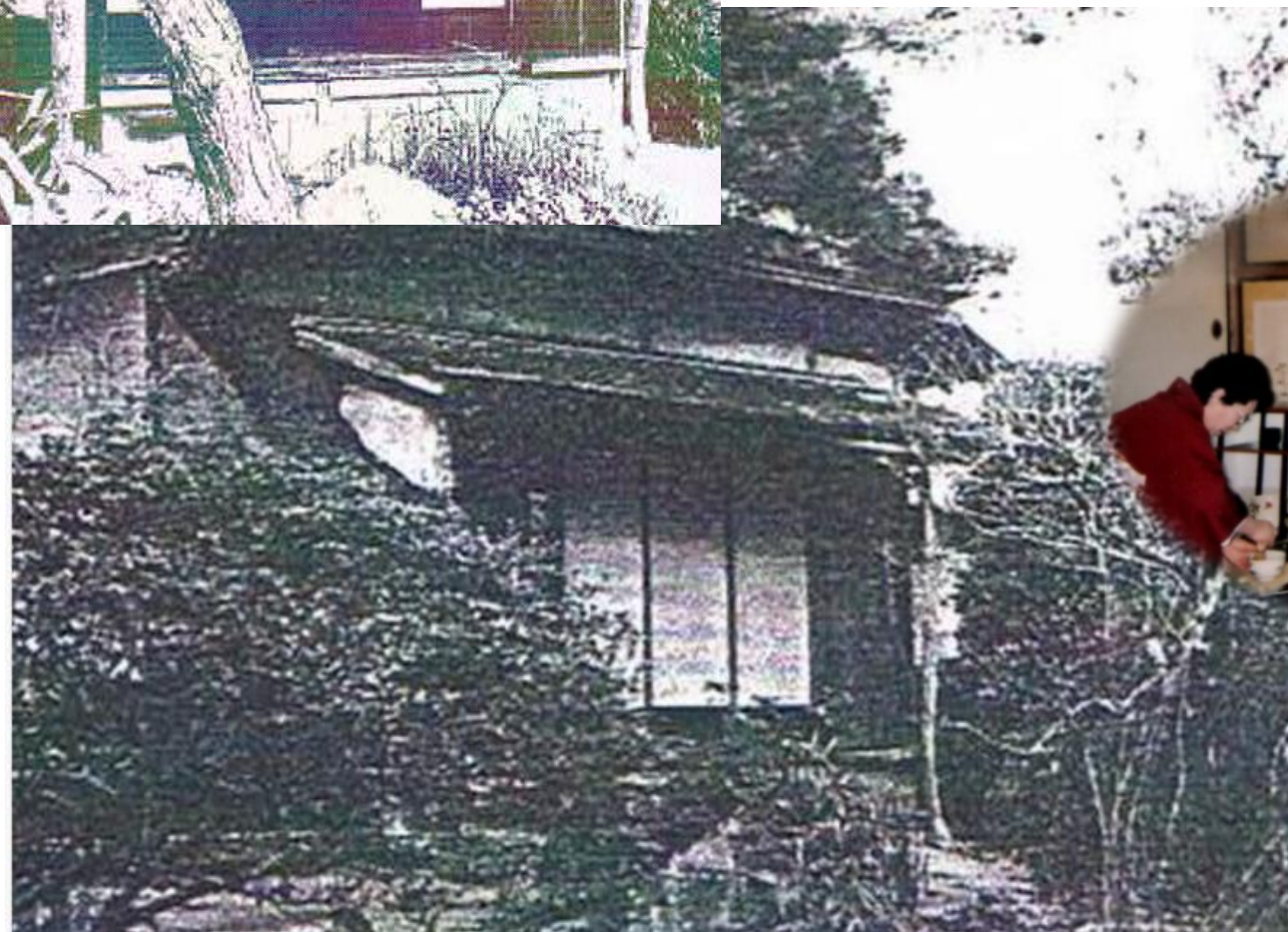
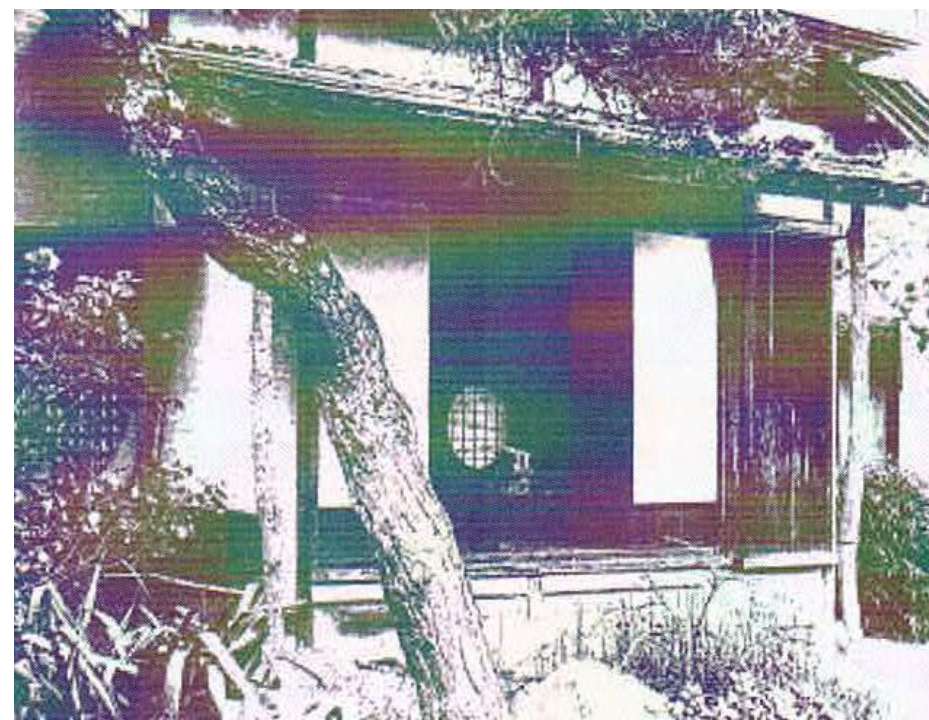
ゆかりの茶室にひかりを当てるっちゃGO

山元いいっ茶組 清水ますみ

2024年3月22日 亘理郡神社総代連合会総会 亘理中央公民館



坂元神社



昭和末期のお茶会の様子

どんな茶室か

秀吉ゆかりの茶室



● 伊達政宗が豊臣秀吉から拝領した茶室  
との伝承がある

京都・伏見から  
青葉城へ



● 仙台藩の茶の湯の文化・歴史を伝える  
唯一残る茶室



2016年撮影

# 修復・保存・活用を求める活動開始 2016年秋

ゆかりの茶室に光をあてるっちゃGO

「山元いいっ茶組」

地元町民の会 発起人5名

岩佐大輝/庄司アイ/早坂文明/三浦寛也/清水ますみ



地元で頑張る皆さんを応援します！

「大條家ゆかりの茶室の保存と活用を願う会」

在仙台の建築等の専門家・有識者 26名

# 設立趣意書

# 「大條家ゆかりの茶室の保存と活用を願う会」 在仙台の建築等の専門家・有識者 26名

「大條家ゆかりの茶室の保存と活用を願う会」設立趣意書

2016 年 10 月吉日

## 一 目 次

- ・ 目 的
- ・ 町指定文化財「大條家ゆかりの茶室」保存意義
- ・ 活動内容
- ・ 事務局
- ・ 発起人

## 目 的：

宮城県亘理郡山元町にある町指定文化財の「茶室」（山元町坂元字館下 119-2・昭和 7 年移築）は、老朽化に加え東日本大震災により著しく損傷した。本件については、平成 25 年 3 月既に文化庁の「東日本大震災被災文化財建造物復旧支援事業（文化財ドクター派遣事業）」により派遣された日本建築学会など建築専門団体が作成した報告書「山元町の茶室・大手門・板倉の修復方針の助言」が提出されている。しかしながら、地震に加え津波による被害が甚大であった山元町では、歴史的建造物の復旧に関してはまだまだ手付かずの状態である。

本茶室は藩政時代に当町域を治めた大條家にゆかりのあるもので仙台藩の茶の湯文化を伝える希少な遺構であり、東日本大震災によって町内の歴史的建造物が数多く失われた中で震災を乗り越えて郷土の歴史を伝える貴重な建物でもある。

つては、本茶室の早急な修復、保存、活用の実現の為に、技術面、資金面、活用面など様々な角度から山元町をサポート・応援する「大條家ゆかりの茶室の保存と活用を願う会」を設立するものである。

## 町指定文化財「大條家ゆかりの茶室」保存意義：

### 1）文化財（由緒と建築物）としての価値と重要性

本茶室は、伊達家が秀吉より拝領したという伝承があり、後に大條氏が伊達家から下賜されて仙台北下の屋敷に移し、更に昭和 7 年に当町に移築されたという。藩祖政宗以来歴代藩主に重んじられた仙台北藩における茶の湯文化・歴史の流れを伝える茶室としては、残月亭（仙台市指定文化財・明治中期建築・仙台市青葉区川内）と並び文化財的価値は非常に高い。

建築物としては、様々な改築・増築の経緯があり、正確な築年代の特定にはさらなる検証を待つ必要があるものの、桃山時代の部材の存在の可能性も秘めており、随所に意匠を凝らした書院風茶室として数少ないすぐれた遺構と言える。

## 【活動要旨】

おりしも、震災後の文化庁の「東日本大震災被災文化財建造物復旧支援事業（文化財ドクター派遣事業）」による調査で茶室修復の助言がなされ、調査された専門家の方々を中心に、早急な修復、保存、活用、実現の為に、技術面、資金面、活用面など様々な角度から山元町をサポート・応援する「大條家ゆかりの茶室の保存と活用を願う会」が設立されるとお聞きしました。ここには、専門的で広い視点での「茶室」の歴史的意義についての示唆もあり、山元町民として改めて、茶室の修復と保存に向けた活動が、責任の重いものであることを痛感した次第です。

山元「いっ茶」組は、「大條家ゆかりの茶室の保存と活用を願う会」の山元町発起人としても登録し、アドバイスも頂き、連携しながら活動させて頂く所存です。

今後以下の活動を行い、町役場に協力させていただきます。

- ・ 修復・保存を求める声を、町内外から広く集めて、町役場に随時お届けします
- ・ 資金調達においては、募金、助成金、寄付、ファンドなどを多角的に検討して、協力いたします
- ・ 町民への茶室に関する情報の発信（勉強会、講演会、チラシなど）を積極的におこないます
- ・ 町役場と情報交換、話し合いの機会をつくり、着実な進捗に協力します
- ・ 保存後の活用・維持について、意見やアイデアを集め、実現可能な具体的活用策を提案し、町の活性化に寄与いたします

以 上

## ゆかりの茶室にひかりを当てるっちゃGO 山元「いっ茶」組

\* 五十音順

- 岩佐大輝（農業法人(株)GRA 代表）
- 庄司アイ（やまもと民話の会）
- 早坂文明（曹洞宗 光明山 徳本寺 住職）
- 三浦寛也（コロンビア大学日本文化イニシアチブ芸術監督・ベイツ大学准教授作曲家）

連絡先：代表 清水ますみ

〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原 30-2

ボラリス「こう・ふくアトリエ」内

電話：090-2528-6107

## 「大條家ゆかりの茶室の保存と活用を願う会」発起人：

代表：

永井康雄（山形大学教授・建築史家）

発起人 \*五十音順

|       |                                      |    |
|-------|--------------------------------------|----|
| 阿部和子  | 伊達家御廟大年寺会 会長                         | 仙台 |
| 一力徳子  | 「四ツ谷の水を街並みに！」市民の会 副会長                | 仙台 |
| 氏家清一  | （公社）日本建築家協会東北支部保存再生部 会長              | 仙台 |
| 遠藤勝目  | NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台「グループよっこより」 代表 | 仙台 |
| 郡司克一  | 仙台ボランティア英語通訳ガイドグループGOZAIN 代表         | 仙台 |
| 小山祐司  | 東北工業大学ライフデザイン学部安全安心生活デザイン学科 教授       | 仙台 |
| 佐藤彰男  | 貞山運河研究所 副理事長・宮城大学事業構想学部客員教授          | 仙台 |
| 佐藤憲一  | 大崎市文化財保護委員・美里町文化財保護委員・元仙台市立博物館 館長    | 仙台 |
| 鈴木繁雄  | 学校法人 聖和学園 理事長（元仙台市議会議員）              | 仙台 |
| 田中於菟彦 | 青葉城本丸館 館長                            | 仙台 |
| 中村龍造  | （一社）宮城県建築士会                          | 仙台 |
| 新聞昌利  | 「四ツ谷の水を街並みに！」市民の会 会長                 | 仙台 |
| 二郷精   | atelier NIGO 主宰・環境カウンセラー             | 仙台 |
| 濱田直嗣  | 宮城県慶長使節船ミュージアム 館長                    | 仙台 |
| 早坂謙一郎 | 東北共済商事(株)                            | 仙台 |
| 早坂俊夫  | 仙台青葉ロータリークラブ                         | 仙台 |
| 左知子   | 左知子建築設計室・建築家                         | 東京 |
| 福井恵子  | フレスコキチ山下駅前店壁画アートディレクター・フラッグ・デザイナー    | 京都 |
| 古田義弘  | 元東北福祉大学教授・住宅問題評論家・「正宗ワールド」プロジェクト 代表  | 仙台 |
| 山下晴輝  | 仙台南ロータリークラブ 幹事                       | 仙台 |
| 横山芳一  | (株)横山芳夫建築設計監理事務所 代表                  | 仙台 |

## <山元町>

|       |                                    |        |
|-------|------------------------------------|--------|
| 岩佐大輝  | 農業法人(株)GRA 代表                      | 山元町    |
| 清水ますみ | 日暮里富士見坂を守る会・NPO法人ボラリスこう・ふくアトリエ     | 山元町・東京 |
| 庄司アイ  | やまもと民話の会                           | 山元町    |
| 早坂文明  | 曹洞宗 光明山 徳本寺 住職                     | 山元町    |
| 三浦寛也  | コロンビア大学日本文化イニシアチブ芸術監督・ベイツ大学准教授・作曲家 | 山元町・米国 |

# 設立趣意書

## ゆかりの茶室に光をあてるっちゃGO 「山元いっ茶組」 地元町民の会 発起人5名 岩佐大輝/庄司アイ/早坂文明/三浦寛也/清水ますみ

2016 年 10 月吉日

山元町町長 齋藤 俊夫 様

山元町指定文化財「豊臣秀吉ゆかり茶室（通称）」の修復と保存を求める要望書  
及び 山元「いっ茶」組設立・活動要旨表明書

ゆかりの茶室にひかりを当てるっちゃGO  
山元「いっ茶」組  
代表 清水ますみ 印  
〒989-2202  
宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原 30-2  
ボラリス「こう・ふくアトリエ」内

私達山元町民は、山元町坂元字館下 119-2 にある、町指定文化財の「茶室」（通称「豊臣秀吉ゆかり茶室」）を目にする時、老朽化と損傷で荒廃が加速するその姿に、深い心の痛みを感じざるを得ません。

町民には長年の愛着ある茶室であります。さらに、東日本大震災により多くの歴史的建造物が失われた中、震災をのり超えて残された、町の歴史を伝える貴重な文化財と認識しております。町復興の兆しも見えてきたからでしょうか、茶室が元の姿に戻ったら私達も町も、もっと元氣になれるという思いも湧いて参ります。

そこで私達は、茶室の修復と保存の実現に向けて活動する会として、

ゆかりの茶室にひかりを当てるっちゃGO 山元「いっ茶」組  
を設立いたしました。町内から聞こえてくる茶室への思いや、保存を願う声、修復や活用についての意見やアイデアを結集し、役場の皆さまとご一緒に、実現に向けて活動を始めたいと思います。

つきましては、山元「いっ茶」組は、以下を要望し、活動の要旨を表明いたします。

### 【要 望】

町指定文化財の「茶室」の修復と保存を要望いたします。

特に、早急の要望として、

- ・茶室損傷を防ぐための防護策（カバーシートなど）を早急にこうじること
- ・防護していることを説明するボード（立て看板）を、茶室前に設置すること
- ・専門家による茶室来歴や建築物としての検証・調査を、即、開始すること

### 2）東日本大震災での津波を免れた復興のシンボルとしての重要性

何より、山側にあったことで津波被害から免れて残った町の文化財であり、これからも町民にとつての誇り・宝として心の支えになることが期待される。

### 3）町民の活用による町活性化の場としての重要性

従来のように地元の茶道愛好家や学校茶道の場として復活活用する以外にも、積極的な工夫活用で、新しいコミュニティの場として復興に向けて歩むこれからの山元町全体の活性化にも大きく寄与できる。

\*以上の出典

- ・「山元町の茶室・大手門・板倉の修復方針の助言」（平成 25 年 3 月）  
復旧支援委員会（日本建築学会、日本建築家協会、日本建築士連合会、日本土木学会）  
東日本大震災被災文化財建造物復旧支援事業（文化財ドクター派遣事業）
- ・「内山家茶室実測調査報告書」（平成 6 年）  
東北工業大学工業意匠学科第三生産技術研究室

### 活動内容：

- 「大條家ゆかりの茶室の保存と活用を願う会」設立趣旨書の提出
- 発起人及び賛同者の集積
- 学術的調査への協力
- 保護、修復、保存に向けての方針決定への学術的協力
- 地元主体組織「ゆかりの茶室にひかりをあてるっちゃ GO 山元「いっ茶」組」への協力と連携
  - ・修復、保存に関わる資金援助の方法の検討
  - ・町民への茶室知識啓蒙への協力
  - ・保存後の活用・維持について、実現可能な策の策定への協力

### 事務局：

清水ますみ  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 4-5-18-203  
e-mail: [naf02761@nifty.com](mailto:naf02761@nifty.com) fax: 03-3823-8695  
携 帯: 090-2528-6107

\*山元町に縁者を持ち、在山元町の障害者支援 NPO 法人「ボラリス」会員で、「ボラリスこう・ふくアトリエ」オーナー代理人。東京在住であるが、月の 1/3 程度を亶理町に帰省している。

□ 2023年春 修復・保存が決定

□ 2023年5～9月 資金集め  
(クラウドファンディング 1千万円)

□ 2024年2月  
工事開始

□ 2024年11月  
第一期工事終了  
利用開始予定



# おおえだ 大 條



抱きおもだか

みのくび  
・**蓑首城** 城主

伊達政宗



・**大條氏が保有していた茶室**

# サンドウィッチマン 伊達みきお

大條家の末裔



改 称

明治3年 「伊達」の姓への復帰を命じられる

おおえだ  
大條



だて  
伊達



□初 代 仙台藩伊達家9代目の弟(伊達の分家)  
室町時代初期

□福島県の おおえたむら 大枝邑(今の梁川町) に領地

大枝 → 大条 → 大條

□大條8代 坂元・養首城に知行替え 江戸時代初期  
伊達政宗の命により 1616年

いっけ  
伊達ご一家

- ・仙台藩の最重要職につく
- ・青葉城下に大きな屋敷
- ・奉行職(いわゆる家老)

# なぜ、茶室が 大條家のものになったのか？



15代 大條道直 が 仙台藩主 から下賜された

理由

**伊達の血筋を守った功績**

- ・仙台藩11代藩主 伊達斉義 が13歳で早世。  
→ 跡継ぎ問題発生
- ・徳川幕府の家老の水野忠邦から、跡継ぎは、徳川家からを下す
- ・大條道直(当時32歳)が命を賭して断る  
→ 徳川の血を入れることなく、登米伊達家から跡継ぎをたてる

# — 講 談 —

## 「伊達の血筋を守った男 大條道直」

村田琴之介

山元町指定文化財「此君亭」

茶室の歴史  
軽妙に語る

アマ講談師村田さん 台本自作 200人魅了

仙台藩を治めた伊達家とその血筋を引く大條家、同家に与えられた茶室の関係を分かりやすく解説する講談会が23日、山元町の徳本寺であった。仙台市のアマチュア講談師村田琴之介さん(68)が、オリジナルの台本を来場者約200人の前で語り下ろした。

サンドイッチ伊達さん父も登場

演題は「伊達の血筋を守った男 大條道直」。11代藩主斉義の死後、徳川将軍家から養子を迎えて藩を継がせよう幕府の老中から勧められた際、大條家15代当主の道直が命を賭して計画を差し止めさせた史実を、軽妙な語り口で演じた。

「伊達家の血筋を守るため命を懸けた男がいたからこそ、坂元に茶室が今ある」と語った。

茶室は町指定文化財の「大條家茶室 此君亭」。道直が1832年、跡継ぎ問題の解決に貢献した褒美として12代藩主伊達斉邦から与えられ、仙台城から城下の大條邸に移された。1932年、山元町坂元地区の養育院跡に移築された。大條家の菩提寺である徳本寺では、養育院最後の城主で大條家17代当主伊達宗亮の百回忌法要もあった。

子孫を代表し、仙台市出身のお笑いコンビ「サンドウィッチマン」の伊達みきおさんの父政亮さん(80)があいさつに立ち「私の両親が新婚旅行で茶室に泊まった。祖父に連れられ茶室で遊んだ記憶がある」と思い出を明かし、会場を沸かせた。

講談会は、東日本大震災で被災した茶室の修復費の一部に充てるため町が29日まで募っているクラウドファンディング型ふるさと納税の目標額(1000万円)達成を後押ししようと、寺が主催した。28日現在、寄付額は計約1060万円に上っている。

茶室の由緒を分かりやすく語った村田さん(左)



河北新報2023年9月

# 移築の推移

(1)天保3年(1832年) 大條道直 茶室拝領し、  
仙台城下の大條家屋敷(川内)に移築・建立

＊跡継ぎ問題解決の4年後

「国際センター駅」の北側  
仙商跡・交流広場駐車場

(2)明治21年(1888年) 仙台市支倉町に移築

＊川内の屋敷が明治新政府に召し上げ 支倉町に土地求める

＊17代大條道徳(伊達宗亮) 茶室を川内から移築

＊大條本家の伊達家は、現在もこの地に住む

(3)昭和7年(1932年) 坂元の養首城 三の丸に移築

＊茶室拝領100年      ＊土台の石も運ぶ

# 大正期 支倉町の茶室

茶室

大條17代  
伊達宗亮  
(大條道徳)

- \* 茶室を川内から支倉に移築
- \* 大條家最後の城主
- \* 戊辰戦争後始末の活躍で  
「伊達姓」復歸を命じられる



# 大條20世 故 伊達宗行様



- ・支倉町の家茶室は、私が3歳まであった建物
- ・90年もの間、山元町地元の人達に大切に保存していただいていたありがたい

1929年仙台生まれ。理学博士。専門は物性物理学、特に磁性、極低温、強磁場研究で国際的に著名。1952年東北大学理学部卒業。1955年東北大学理学研究科物理専攻中退。大阪大学理学部教授を29年、同学部長、日本原子力研究所の初代先端基礎研究センター長、日本物理学会会長、日本学術会議会員、同第4部長などを歴任。現在、財団法人新世代研究所理事長、大阪大学名誉教授。電子スピン共鳴の研究で松永賞（1971）、超強磁場の開発で仁科記念賞（1980）、そして日本金属学会論文賞（1985）、藤原賞（1991）、紫綬褒章（1991）、勲二等瑞宝章（2000）を受賞。主な著書に、『新しい物性物理』（講談社）、『極限科学 強磁場の世界』（丸善）、『極限の科学』（ブルーバックス）、『「理科」で歴史を読みなおす』（ちくま新書）等がある。



## 「大條家ゆかりの茶室」フォーラム

宮城県山元町には、仙台湾の茶の湯文化・歴史の流れを伝える貴重な歴史的遺産が、老朽化を深めて眠っています。  
旧領主大條家が天保年間（1832年）に拝領した茶室です。

東日本大震災でのダメージも大きく早急な対応が必要です。この現状を広く知っていただくため、大條家茶室の復旧・保存祈念講演会を企画いたしました。さらに、「お殿様のお茶室だっちゃ この先どうすっべ」をテーマに、茶室活用の夢や、どのような復旧・保存が山元町全体の活性化に寄与出来るのかなどについて、会場の参加者を含む一同による、フランクなディスカッションもいたします。多くの方にご参集いただきたいと思います。

**第Ⅰ部：大條家茶室の復旧・保存祈念講演**

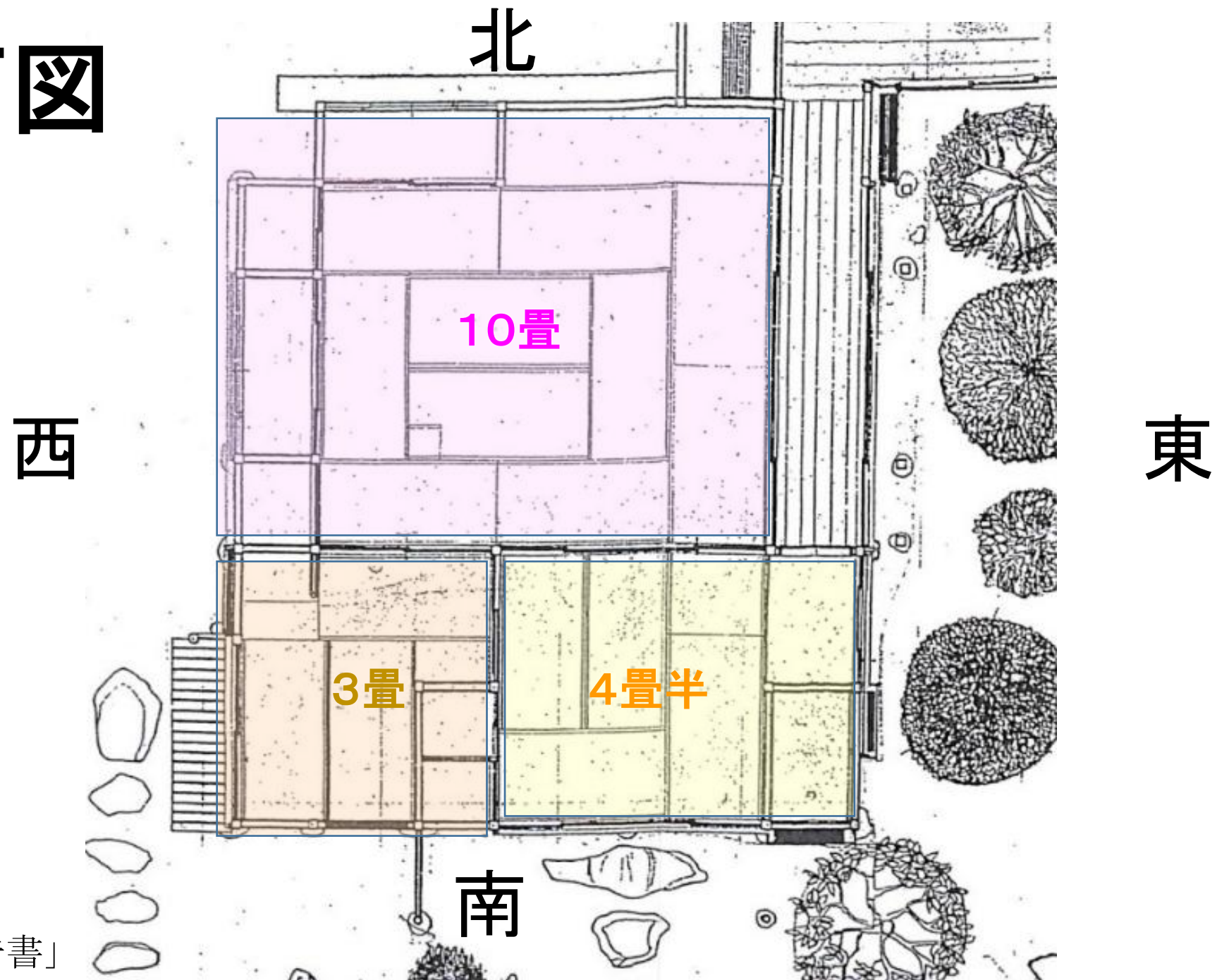
- 御茶室物語  
大條家20世 仙台湾志会会長 伊達宗行氏
- 伊達政宗と茶の湯（仮）  
仙台市博物館元館長 佐藤憲一氏

**第Ⅱ部：～お殿様のお茶室だっちゃ この先どうすっべ～**  
トークセッション/ディスカッション  
コーディネーター：山形大学 教授（建築史） 永井康雄氏

- ・公社）日本建築家協会保存再生会議副議長・JIA文化財修復監委員 氏家清一氏
- ・山元町 生涯学習課
- ・山元町民2名（歴史研究者/町おこし活動家）他

開催日時：平成30年 6月9日（土）13:30～（13:00開場）  
会場：坂元地域交流センター（ふるさとおもだか館）  
※ 百理郡山元町坂元字東1-60 常磐線坂元駅から徒歩5分

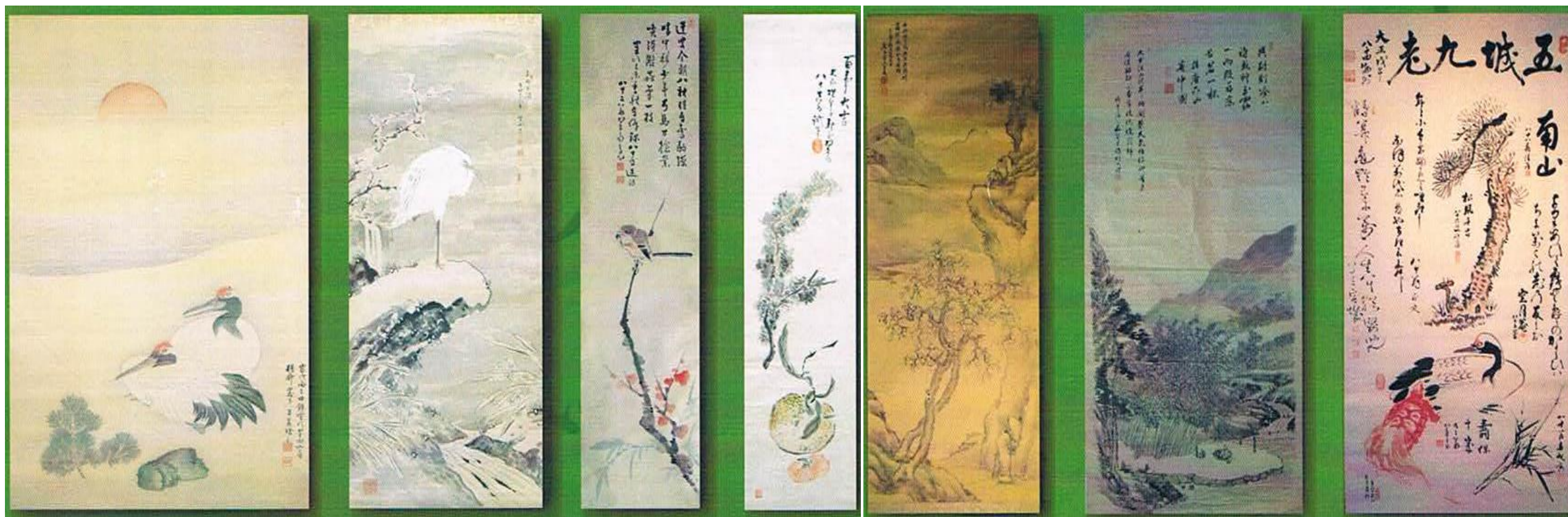
# 茶室平面図



# 茶室では、絵を描いたり歌を詠んだり 文化人が集うサロンだった

1 7代大條孫三郎（伊達宗亮）の書画

雅号：伊達翠雨



おおえだ け  
**大條家茶室**

- 貴重な文化財である理由
- 大條家とは
- 茶室は仙台藩主からの下賜 その理由
- 茶室の移築の推移
- 茶室の間取り と 使われ方

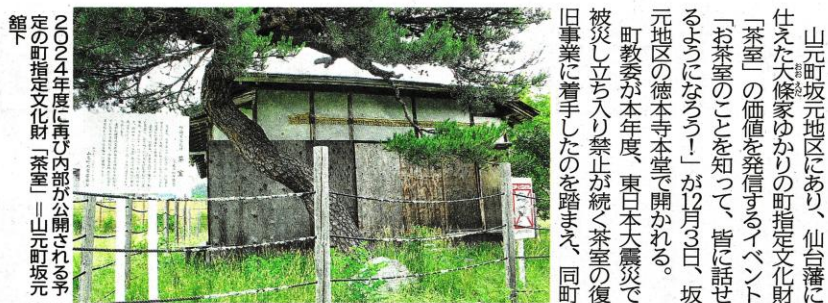
# —電子紙芝居—

## 「大條家ゆかりの御茶室ものがたり」

2021年3月制作



河北新報 2022年(令和4年)11月26日(土曜日) みやぎ 1.6版 (1)



### 来月3日イベント 紙芝居で歴史紹介

山元町坂元地区にあり、仙台湾に仕えた大條家ゆかりの町指定文化財「茶室」の価値を発信するイベント「お茶室のことを知って、皆に話せるようになろう!」が12月3日、坂元地区の徳本寺本堂で開かれる。町教委が本年度、東日本大震災で被災し立ち入り禁止が続く茶室の復旧事業に着手したのを踏まえ、同町

山元町坂元地区にあり、仙台湾に仕えた大條家ゆかりの町指定文化財「茶室」の価値を発信するイベント「お茶室のことを知って、皆に話せるようになろう!」が12月3日、坂元地区の徳本寺本堂で開かれる。町教委が本年度、東日本大震災で被災し立ち入り禁止が続く茶室の復旧事業に着手したのを踏まえ、同町

山元町坂元地区にあり、仙台湾に仕えた大條家ゆかりの町指定文化財「茶室」の価値を発信するイベント「お茶室のことを知って、皆に話せるようになろう!」が12月3日、坂元地区の徳本寺本堂で開かれる。町教委が本年度、東日本大震災で被災し立ち入り禁止が続く茶室の復旧事業に着手したのを踏まえ、同町

### 震災で被災の山元町文化財復旧着手 大條家茶室 魅力知って

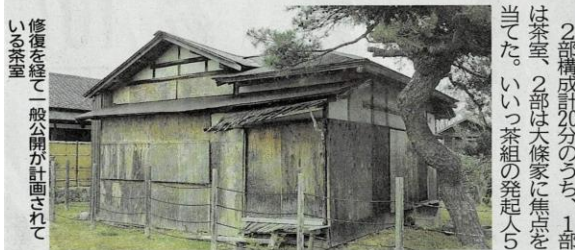
山元・坂元地区 住民グループ企画



紙芝居を掲げる関係者

藩制時代の坂元城主大條家ゆかりの建築物で、山元町坂元地区にある町指定文化財の茶室「茶室」の価値を発信する住民グループ「山元いっ茶組」が、紙芝居を作った。仙台湾の茶の湯文化を伝える遺産を子どもたちに学んでほしいと企画した。紙芝居は、坂元地区に引越してきた親子が、大條家の歴史概要や歴史を教えるという内容

### 大條氏茶室 大切さ知って



容 野だてや演奏会など現代の茶室の活用方法を語り合う。「代々大切にしてきた茶室、たくさんの方が集い、楽しんでほしい」と結ぶ。

2部構成計20分のうち、1部は茶室、2部は大條家に焦点を当てた。いっ茶組の発起人5人、関係者8人が観賞。同町の障害者就労支援NPO法人ボラリスの利用者で、絵を描いた宮部あゆみさん(43)は「脚本に合わせて場面を描き分けるのが大変だった。茶室は古めかしい感じを出すように工夫した。すてきに仕上がった、うれしい」と喜んだ。

紙芝居を取ったCD-R150枚を製作し、町内の小中学校や幼稚園などに配る。インターネットでも公開する予定。山元いっ茶組の担当者は「町の未来を担う子どもたちに茶室の大切さを理解してほしい。大人も含めて、手軽に学べるツールとして活用できる」と語る。

## 藩制期の茶の湯 紙芝居で

# 山元いっ茶組

## 活動報告

修復・保存の決定は、  
関わった方々、それぞれの立場での  
ご努力とご苦勞の賜物

生涯学習課 担当者 / 教育委員会 文化財保護委員会 / 議員さん・・・etc.

# 役場に届けました

3回の寄付金

2回の茶室アンケート実施

(1)2017:

・養生

(2)2018

＊1

・茶室

(3)2023

(クラ

・92,

・12,

・27,500円(徳本寺紙芝居イベントカンパ箱)

計 131,760円 ⇒ 132,000円

署名

総計 378名

・山元町

214名

・山元町近隣(宮城県内) 一亘理、丸森、名取、岩沼、仙台などー

91名

・宮城県外 ー東京、神奈川、京都、大阪、奈良、青森、沖縄などー

73名

名  
ですか？  
ださい。

名  
んでも  
の提言

# アンケートのまとめ

2017年1月31日 山元「いい茶組」

—茶室をどんな風に使いたいですか？ 利用アイデアをお聞かせください。—

## キーワード

### 山元町

誰もが使える・気軽に・自由に  
やすらぎ・憩い 楽しく集まる  
コミュニケーションの場  
カフェ コンサート 朗読会 句会  
観光名所  
町の活性化  
茶の湯文化 お茶会 茶道  
子供の茶道経験  
伝統文化 歴史、文化 遺産  
後世に残すを

### 山元町近隣 (県内)

散策路 ロケ地  
先進的芸術との組み合わせ  
つどう場所 茶の湯を通した憩いの場  
読書会 朗読会 カフェ(出前) お茶サロン  
国際交流 関西などとの交流  
小中学生と高齢者の交流  
子供茶道 茶の湯体験 お茶会  
気軽 足の悪い人も 自由に  
山元を離れているが一緒に活動したい  
歴史が感じられる 歴史と文化を継ぐ場

### 宮城県外

町外からも自由に 気軽、多くの人に  
ツアーを  
子供達の文化教育の場 茶室教室 本格的茶の湯  
歴史を大切にする空間 町の宝もの 文化を感じる  
庭も整備して避難場所としても

歴史と伝統文化が感じられる雰囲気がある  
大人も子供も、気軽に自由に、  
やすらぎ、楽しく憩える、  
コミュニケーションの場所が欲しい!!

\*公民館などの現代建築でないもの

- ・後世に残す場所、遺産である
- ・観光名所
- ・町を活性化する場所

交流の場に

- ・国際交流
- ・東北以外の地域交流
- ・子供と老人交流
- ・茶道と先進芸術

帰省の楽しみの場に

- ・歴史が感じられる空間
- ・歴史と文化を継ぐ場

歴史を大切に

- 町外からも気軽に
- ・文化教育の場
- ・町の宝もの

- ・茶道を学ぶ場
- ・子供(小中学生)茶道
- ・本格的なお茶会

- ・コンサート
- ・朗読会/読書会/句会
- ・カフェ/お茶サロン

- ・子供の文化教育
- ・歴史勉強

- ・散策路
- ・ロケ地
- ・ツアー
- ・庭は避難場所として

# アンケート フリー記入欄紹介

これからの茶室について、ご意見・思い・提案 等々、なんでも

## 修復・保存への希望、意見

- ・早く復元を。
- ・文化のため、すぐに進めてもらいたい
- ・なるべく早く茶室を復旧してお抹茶がいただけるようお願いします。
- ・歴史的文化財を未来に引き渡す為、充実プランを整え、再建を望みます。
- ・地元の若い人も含めて、いろいろ活用策など、何でも話してみては。
- ・復旧して使えるものに
- ・寄附を集めてできるだけ残せるようにして欲しい。
- ・再建を期待
- ・早く建て直していただきたい。坂元の地域おこしにつながるように。
- ・「歴史ある茶室」にもどり、有効な活用方法を出し合って、復旧が早急に進みますよう。
- ・利活用の検討をお願いしたい。
- ・伊達家での大條家の歴史をもっと光をあてる事を考えていきたい。
- ・活用。開放。
- ・復旧を切望。個々人はどのような行動、取り組みをして欲しいのか(署名、寄付・・・)。
- ・歴史勉強会、いって茶組の方からも情報提供して欲しい。
- ・多くの方々の力を借りて、この茶室の謎を解いて頂ければ。
- ・早く復元されて町民の皆様に披露されますことを期待
- ・子供達を巻き込む活動は必要。子供達に地元の歴史を学ばせる機会を増やす。
- ・町の宝として大切に保存活用を
- ・しっかりとした技術で、保存・修理されることを願っています。(30歳代)
- ・お茶の文化で坂元を盛り上げましょう。伊達(仙台)⇒秀吉よりもらった茶室はたった1つ。

### 茶室の移設意見(2件)

- ・もっと人が集まる場所に移築した方が良い。
- ・いわれのあるこの坂元の地域より、人の集まりやすい場所に移設するのもいたしかたないのでは？

## 宣伝・PRを

- ・大々的な宣伝をするべき
- ・茶室の名をより広く知ってもらう様に広報等でアピール
- ・道の駅ができたなら町の特産物と共に歴史的なものも紹介するコーナーを作っては？
- ・坂元の茶室をPRしよう。

## 役場へ

- ・山元町の対応を見て行きたい。調査費は出ているようなので。
- ・文化財を大切に行政・町政・町民であることを願います。  
特にこの町の首長様にお願いしたい。文化財はお荷物ではなくたいせつな資源です。
- ・町の文化財であれば、もっと積極的に財政を負担し、改修すべきだが、なかなか町が積極的にならない。町民がもっともっと要請すべき。
- ・町の生涯学習課の「茶室」への取り組み方、もっと町民へにPRが必要。
- ・役場が動けば大丈夫だと思う。
- ・町の担当者がとても勉強されていて嬉しかった。あとは予算をつけて修復を。
- ・町の文化財指定のあり方の無責任に只、啞然。

## 利用・活用アイデア

- ・保存し、子供達の教育に役立ててもらいたい。
- ・少なくとも町内の小中学校での教材にして欲しい。
- ・お茶は総合文化なので、子供の頃から茶道にふれる機会の場に。「山元」は小学生でもお茶をたてると評判になる
- ・茶道(クラブや中高生の部活など)や民話の活動の場

- ・「茶室」をシンボルに「茶の湯を楽しめる町づくり」というような。人の魅力でたしまれる町作りへ。
- ・「庭めぐり」を季節毎に行う
- ・歴史を伝え、長く使われていく茶室に
- ・茶会も開けるくらいに直す。水廻りなどもちゃんと作って。
- ・町民が利用する茶室
- ・坂元の観光にも役たてて、季節毎のお茶会など。
- ・野点でも。復元すること。

- ・地域のよりどころで、いこいの場に
- ・茶室だけでなく、坂元全体として町割りなど守り、広めていくべき。
- ・茶室や池や環境を整備して遊歩道のごとくしてもよい。坂元の町区全体を散歩道に。
- ・修復後は、それを中心とした祭やイベントの会場として。「茶」以外でも「場所」としての活用によって200年～300年と町の文化財として残っていく。(20歳代)
- ・城内でもあり、とてもまれな立地。整備をすれば地域のアイデンティティーを高めるだけでなく、観光資源としても有効

- ・坂元だけとか、山元町だけというより、他の地域ともうまくつなげていくといい(40歳代)
- ・交流人口拡大のためにも、広域な活用を
- ・交流人口を増やすために活用

## 講演会、イベント、勉強会 10回

町民への茶室認知度アップに努めました 延べ1500人以上が参加

(1)2016.11.19  
～古代の線刻

(2)2017.7.16  
～とことん味  
お呈茶付き

(3)2018.6.9

(4)2018.11.29

(5)2019.9.22

坂元神社  
徳本寺(大條家 菩提寺)  
NPO法人 ポラリス  
ふるさと歴史学習会  
千石家  
山元町教育委員会

石州清水流  
日本建築家協会

増進歩こう会・

大條家ゆかりの御茶室  
上映会

ぼう こぐまサロン  
「御茶室物語」を

を知ろう。  
「の御茶室物語」/  
くる?! /

新作講談「伊達の血筋を守った男 大條道直」

[illegible][illegible][illegible][illegible]

仙台で講演会 80人参加

仙台藩に仕えた大邸家ゆかりの建築物で、山元町坂元地区にある町指定文化財の茶室をテーマにした講演会や茶席が11月29日、仙台市青葉区のせんだいメディアアテールであった。

石州清水流 お点前披露

大條家の20世で仙台藩家主の  
運宗が、長男が茶室の主とな  
る。江戸時代末期に藩主から賜  
うた。大條家の20世で仙台藩家主の運宗が、長男が茶室の主となる。江戸時代末期に藩主から賜

了後はには、仙台藩が家流で大條家と関わり深い石州清水流域による茶席も開かれ、来場者にも点前を披露した。

A group of people are gathered around a low, square wooden table in a room with a tiled floor. A woman in a pink kimono is leaning over the table, showing a book or document to a group of people seated around it. A large red parasol is open over the table. In the background, there are more people and a wall with various posters or notices.

終後には、仙八幡と香流  
 大篠家と聞いたの深い石  
 州清水流による茶室も開か  
 れ、来場者によりお前を披露  
 した。

講演は日本建築家協会東北  
 支部宮城地域会による「ベン  
 ト」ア・キチコツウィーク  
 の一環、茶室の価値を見つめ  
 うと活動する町屋グループ  
 「ゆかたの茶室に光をあそ  
 ぶ」によるG50山元といつ  
 つちやが茶室といつちや  
 組が持した。

いよいよ組発起人の早坂孝  
 明さん(68)は「山元町に實  
 な茶室がない」と町外の  
 に知つてもうきつかにけに  
 ってほしい」と語った。

石州清水流の茶席に参加する人達

新聞やテレビに取り上げてもらったおかげで、  
茶室の修復・保存・活用への活動にはずみ

仙台藩主ゆかり大條家茶室  
震災で被害 価値再確認

仙台藩に生まれた、餘幸はかりの建築家として、山形県下地区にある町指定文化財の茶室をテーマにしたつづらラムが9日、岡田坂元のふるさとおもたか館であった。町民らにつくる「ゆかりの茶室」先をあてるとつちやGO、山といった茶組などが主催し、町内外の約100人が参加。元仙台市博物館館長の佐藤憲一氏が講演し、東日本大震災の揺れで大きな被害を受けた茶室の価値を再確認した。

仙臺藩士ゆかり、震災で被害  
大條家茶室  
修復へ議論

[illegible]

9日、山元でフォーラム

の後押しをしようと来  
施行される改正文化財  
護法に言及し、大條家茶  
の保存・活用を呼び掛け  
でフォーラム

このほか、大條家20世で、  
台北藩志会会長の伊達宗行  
の講演やパネル討論など  
あった。

[illegible][illegible]

として一時的に保護されている茶室

できたて

山元町文化財 仙台藩家臣・大條家ゆかりの茶室

仙台藩に仕えた大蔵家ゆかりの建築物で、山元町坂元地区にある町指定文化財の茶室。跡が、東日本震災の揺れで大きな被害を受けたまま手付かすの状態になっている。専門家は、仙台藩の茶の湯文化を伝える貴重な文化財と指摘し、早急な修復の必要性を訴えている。

大震災で被害  
修復手付かず

と修復俵の必要性を訴へた。  
茶室を父つては、東日本大震災被災地復興財団が建物の保存・活用の必要を文部省に申し立てた。震災で茶室の状態が大きく悪化したことから、同財団は今年度中に改修。文化庁は震災で茶室の改修について関係する意見など聴きあひする。  
町教委の担当者は「専門修繕と修繕に伴う運動器据作業など二手一石が図られ、文化財の保全に資するが、周囲にながれ、文化庁保管委員会から改めて申すを受け、保護、活用する方向性を決めた」と説明している。

# 専門家保全の必要性訴え



2017年12月15日  
東日本放送TV  
「キニナル」

[illegible][illegible]

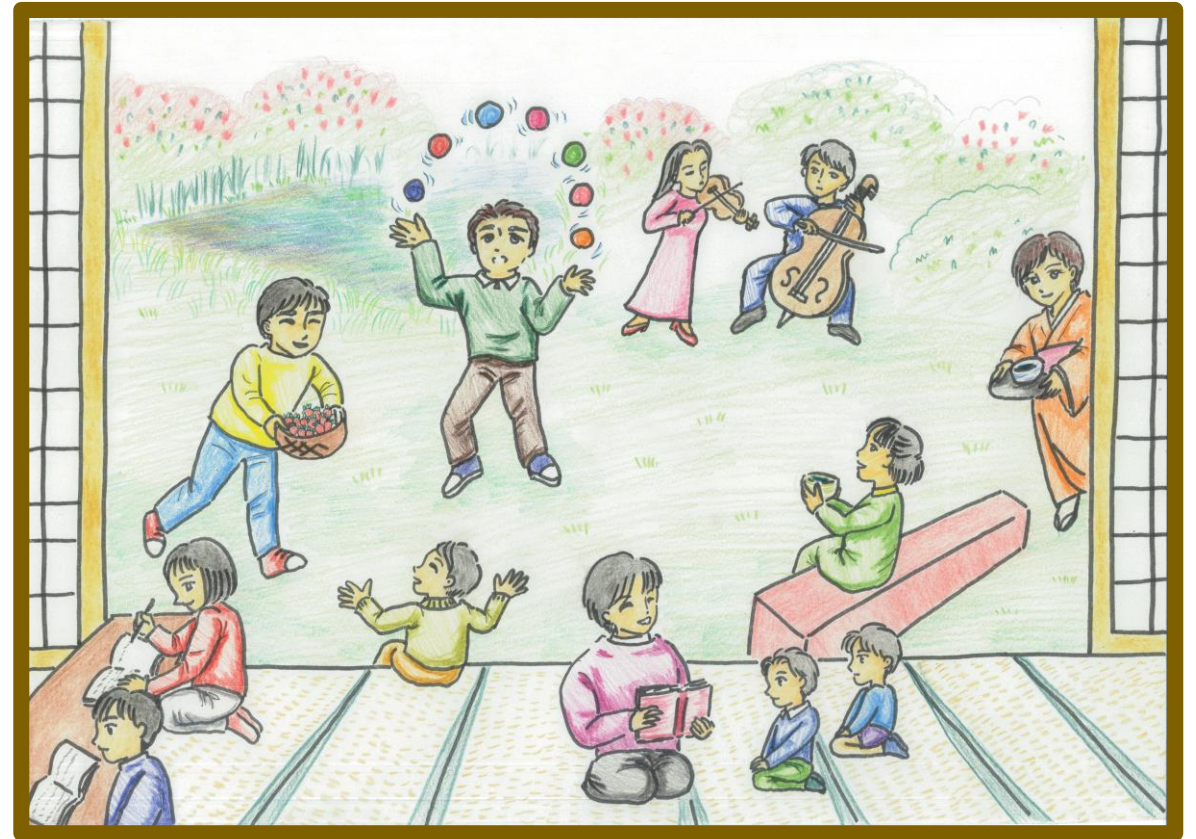


# さまざま・色々に利活用しよう

## 茶室完成予想イメージ (山元町役場HP)



## 茶室の活用場面 (電子紙芝居)



大切にしよう！



文化財



ないがしろ  
にしては  
いけない  
**大切**なもの

# 文化財

茶室がなければ  
ただの  
原っぱ

土地の歴史、文化、先祖の営みを伝える

住む誇り、喜び、心豊かに暮らす糧

その土地の人々の  
アイデンティティ

イキイキ地域

# 大切にしよう！



**文化財**

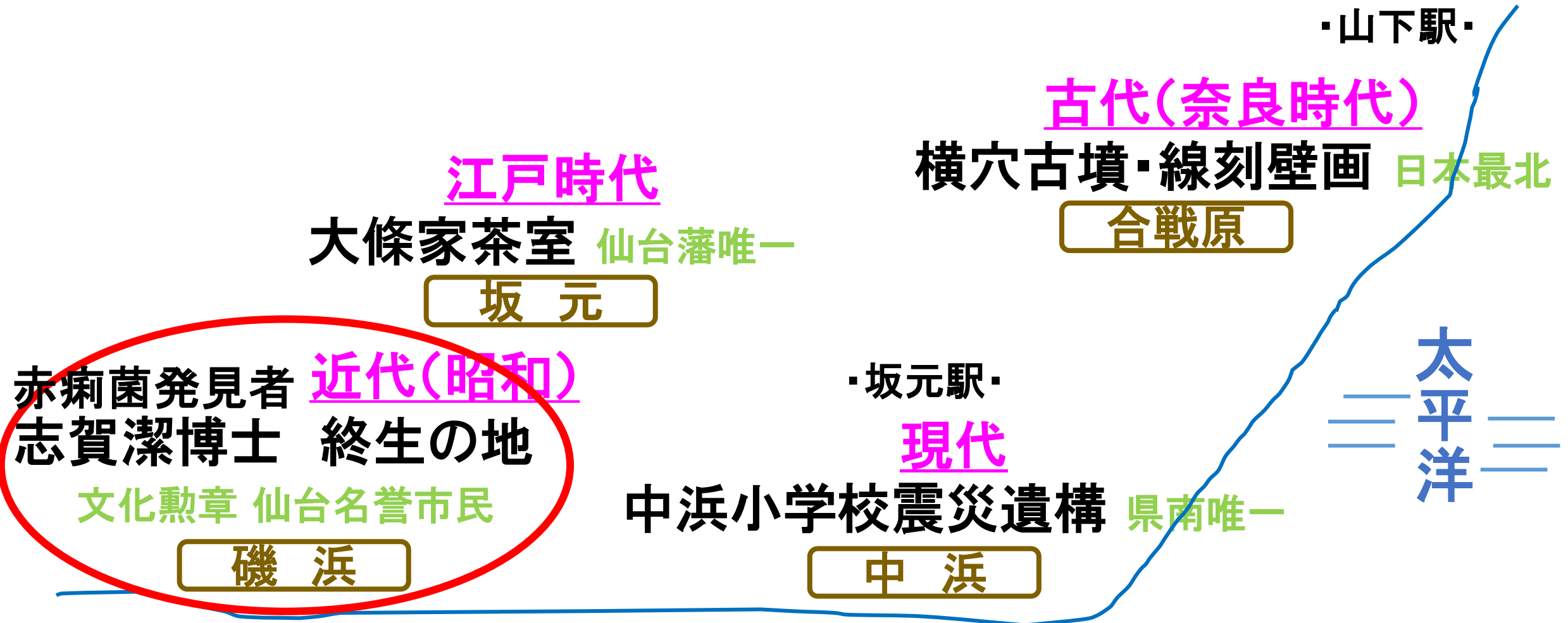


かけがいのない  
自らのアイデンティティ

- ・役場任せにせず、主体的に関わろう
- ・役場 + 地域の人達が パートナーになって

# 〈おまけ〉大切にしよう！

## 面をなす山元町の文化財(古代～現代)



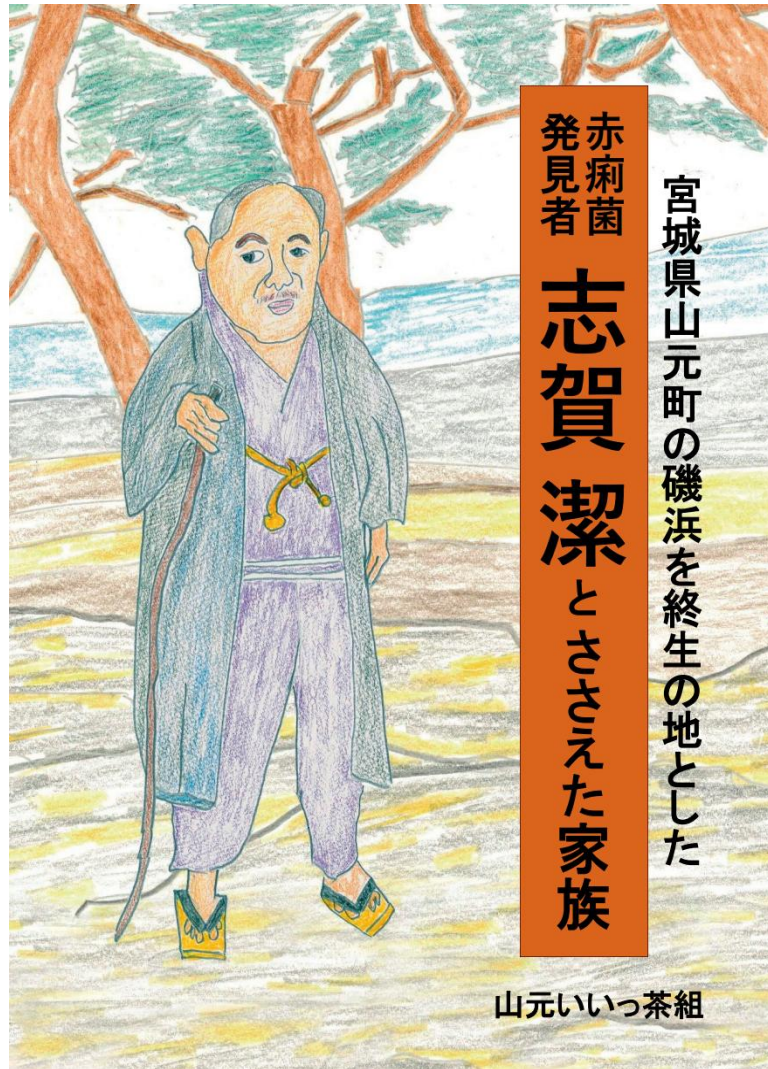
文化勲章 仙台名誉市民 山元町名誉町民

# 志賀潔博士

## の 聞き書き本

「山元いいっ茶組」  
制作・出版

- ・売上の印税は、**茶室の費用に寄付**  
1300円(税抜き)
- ・山元町の磯浜を終生の地と定めたのは  
大條家のお抱え医師に案内されて  
即断即決で家を建てた



山元町文化財

おおえだけ  
大條家茶室

仙台藩ゆかり

話し、伝えてください !!

山元いいっ茶組